

0歳児7月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 健康で快適に過ごし、夏の遊びを経験する 十分に遊んで食事に向かう 自分で食べる喜びを味わう
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食べたいという気持ちが出始め、フォークを持つが、手づかみが多い 気温が高く蒸し暑いので、汗をかいたり、水分を多く欲しが 自分の食べたいものをじっと見たり、「んー！」と指をさして欲しが 好き嫌いのある子ども、咀嚼が弱い子どもがいる 保育士に積極的に関わり、楽しんで食べる子どもがいる
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> 温かな雰囲気の中で手づかみ食べやフォークに刺してもらったものを口に運ぶ経験を積み、自分で食べることの喜びを経験する 様々な食感を味わいながら食べる 食後、乳（母乳・ミルク）を満足するまで飲み、満たされる 保育士がおいしそうによく噛んで食べるのを見る
と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 食前食後の挨拶を保育士と一緒にやる 探索活動を盛んに行い、全身を動かしたり物に触れ楽しさを知る。 機嫌が良く、歌遊びや手遊びなどに動作模倣が見られ（高月齢）、発声や喃語が多くなる 水遊び・沐浴・新聞紙遊び・風船遊び・寒天・野菜スタンプなど様々な感触遊びを経験し、指先の動きが活発になる 天気の良い日には水遊びを楽しみ、水の感触や冷たさを味わう 旬の花や野菜などを見たり触れたりして親しむ（とうもろこし・いんげん・トマト・キュウリ・ピーマン・オクラ・枝豆） 食材の写真や絵本を見て食べる模倣をして保育者との関わりを楽しむ
保 育 者 の 指 導 上 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> 食前、食後の挨拶を保育士と一緒にやる中で、“食事の時間”という意識をつける 子どもが手づかみや自分で食具を持って食べることを見守り、自分で食べたい気持ちを満たしていく ゼリーやウエハースなど一緒に食べながら食感を伝えていく 水分補給・衣服の調整・室温調整をこまめにしていく 保育士がおいしそうによく咀嚼して食べることを見せていく
留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> 安心して授乳や食事ができるように温かく家庭的な雰囲気づくりを心がける 足を安定するための台を使用していく 水遊びの際は安全な環境を設定し、危険のないように十分留意する 旬の花や野菜を見たり触れたりする機会を作る 探索活動をいっそう促せるように、遊びの場（他クラス・テラス・園庭・散歩）や種類（水遊び・新聞紙遊びなど）を広げ、繰り返して体験していく 暑さで食欲が落ちるので、室内の温度を調節し快適に食事ができるようにする 食材の写真や絵本を用意しておく
反 省	<p>天候により室内遊びが多かった。様々な感触遊びを行い、反応はそれぞれであったが、繰り返したり、友だちの様子、保育士の様子を見ていて“自分も”という気持ちが少しづつ育っている。よく遊ぶので食欲が増し、保育士の食べる様子も興味をもって見ている</p>

0歳児8月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 心地よい安全な環境の中で、体を動かして楽しむ 様々な物に触れて、感触を楽しむ
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> 食事を見ると、嬉しそうに声を出したりテーブルを叩いて催促する こぼしながらも、手づかみやスプーン、フォークを使用して、自分で食べようとする 気温が高く蒸し暑いので、汗をかいたり、水分を多く欲しが
ね ら い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 温かな雰囲気の中で自分で食べることを喜ぶ 「これをたべたい」というように指をさし、要求するようになる お腹がいっぱいになると手を合わせてごちそうさまをする
	<ul style="list-style-type: none"> 活動範囲が広がり、発見や気づきを保育士に共感してもらい満足する 指さして物の名称を聞きたがる 氷の冷たさの感触を喜ぶ とうもろこし・トマト・キュウリ・ピーマン・かぼちゃなどの旬の野菜に触れたり、匂いをかいだり、驚いて歓声を上げる ドレッシングや紅茶など様々な空き容器などで匂い遊びを楽しむ ままごとの食べ物が好きで手に持ったりカバンに入れて楽しむ
指 導 上 の 留 意 点	<p>保育者の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> 水分補給・衣服の調整・室温調整をこまめにしていき安眠を確保できるようにする とうもろこしの皮、実、ひげの感触、とまと、きゅうりの匂い、ピーマンの固さなど見たり触れたりできるようにし五感を育てていく
	<p>環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜や果物の名前を丁寧に伝えたり、食べる模倣を一緒にするなど、子どもが好きな時に遊べるよう絵本、ままごとなど環境を設定する いろいろな匂いのする空き容器を用意しておく
反 省	<p>暑い日が多く、水遊びが十分に楽しめた。水遊びでは水を怖がることもなく、ダイナミックに遊ぶ姿が見られる。野菜を水に浮かべてみたり、水に触れてみるなど、夏ならではの遊びも楽しめた。周りの友だちに興味を持ち始めるが、押したりたたいてしまうこともある。関わり方を伝えながら気をつけて保育をしていきたい。</p>

0歳児9月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の自然にふれ、探索活動を十分に楽しむ ・ 手づかみや食具を持って、自分で食べる満足感を味わう
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好き嫌いがでてきて、食べることを嫌がったり、好きな物はおかわりを欲しがようになる ・ 食後、口を拭いてもらおうと手をあわせてごちそうさまをするようになる ・ 自己主張が出始め、喜怒哀楽をはっきりと表現する
ね ら い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな食べものを喜んで食べ、苦手なものも食べようとする ・ こぼしながらもコップや汁碗を自分で持って飲む ・ 「ごはんを食べるから手を洗おうね」と声をかけられると手洗いへ行こうとする ・ 保育士に声をかけられて、よく噛んで食べようとする
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの中で「どうぞ」「ちょうだい」の声かけが分かり、保育士とのやりとりを楽しむ ・ 体操の音楽を聞き、保育士の真似をして体を動かすことを楽しむ ・ 散歩で、みかんなど木に実っているものや花に興味をもって見る ・ グレープフルーツの匂いや落花生の殻の硬さなど食材の特徴を感じていく
保 育 者 の 指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩では子どもたちの目線に合わせ、いろいろなものを発見し伝えていく ・ コップや汁碗など自分で持って飲もうとする気持ちが育つよう、さりげなく援助し、できたことをほめて意欲につながる ・ 保育士がおいしく食べる姿を見せながら意欲につなげていく
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行できる子どもが増えたので、風船・すべり台など体を動かしてあそべるものを用意する ・ 手先の分化をはかるような積み木・穴おとしなどの玩具を常設しておく
反 省	<p>探索活動がさかんで活動の場を広げている。喃語が多く発語も聞かれている。散歩等で秋の自然にふれることも多く、様々なものに触ることに慣れてきた。手づかみや食具を持って“自分で食べる”という気持ちも高まってきている。</p>

0歳児10月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して生活し、人や物への興味関心を広げていく ・ 戸外に出て、自然物に触れる ・ 食具を使い、椅子に座って落ち着いて食べる 				
子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好みがはっきりしてきて“もっとちょうだい”と視線や指さしで表わす ・ 口にしないものも、ほめられて食べようとする時がある ・ 食事に誘うと喜んで手を洗い、テーブルにつく 				
ね ら い と 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 745 243 824">食</td> <td data-bbox="243 638 1421 824"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手づかみやスプーンで食べることに満足感を味わう ・ “ちょうだい”や“ありがとう”を促されて行う ・ 励まされたり、ほめられたりしながら、様々な食べ物を味わう ・ 食べ物の絵本を見て、指さしをしたり、「マンマ」と教えようとする ・ ポップコーン実演を見て楽しむ </td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 887 243 1003">生 活</td> <td data-bbox="243 824 1421 1070"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行が安定し、活動範囲が広がり自分の好きなことで遊ぶ ・ 様々なもの(シール貼り、クレヨン画、絵カード落とし遊び、新聞紙、どんぐり、砂、落ち葉など)に興味を持ち、手先を使って遊ぶ ・ ままごとで切ったり、食べたり、周りの人に“どうぞ”と渡そうとするなど模倣場面が増える ・ いないいないばあ、かけっこ、ボールあそびなど保育士や友だちとの関わりを楽しむ ・ 季節の野菜や花、果物(ミカン)を見たり、触れて楽しむ </td> </tr> </table>	食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手づかみやスプーンで食べることに満足感を味わう ・ “ちょうだい”や“ありがとう”を促されて行う ・ 励まされたり、ほめられたりしながら、様々な食べ物を味わう ・ 食べ物の絵本を見て、指さしをしたり、「マンマ」と教えようとする ・ ポップコーン実演を見て楽しむ 	生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行が安定し、活動範囲が広がり自分の好きなことで遊ぶ ・ 様々なもの(シール貼り、クレヨン画、絵カード落とし遊び、新聞紙、どんぐり、砂、落ち葉など)に興味を持ち、手先を使って遊ぶ ・ ままごとで切ったり、食べたり、周りの人に“どうぞ”と渡そうとするなど模倣場面が増える ・ いないいないばあ、かけっこ、ボールあそびなど保育士や友だちとの関わりを楽しむ ・ 季節の野菜や花、果物(ミカン)を見たり、触れて楽しむ
食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手づかみやスプーンで食べることに満足感を味わう ・ “ちょうだい”や“ありがとう”を促されて行う ・ 励まされたり、ほめられたりしながら、様々な食べ物を味わう ・ 食べ物の絵本を見て、指さしをしたり、「マンマ」と教えようとする ・ ポップコーン実演を見て楽しむ 				
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行が安定し、活動範囲が広がり自分の好きなことで遊ぶ ・ 様々なもの(シール貼り、クレヨン画、絵カード落とし遊び、新聞紙、どんぐり、砂、落ち葉など)に興味を持ち、手先を使って遊ぶ ・ ままごとで切ったり、食べたり、周りの人に“どうぞ”と渡そうとするなど模倣場面が増える ・ いないいないばあ、かけっこ、ボールあそびなど保育士や友だちとの関わりを楽しむ ・ 季節の野菜や花、果物(ミカン)を見たり、触れて楽しむ 				
指 導 上 の 援 助	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 1088 243 1391">保 育 者 の 援 助</td> <td data-bbox="243 1070 1421 1391"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で食べたいという気持ちを尊重し見守る ・ 好みが出てきて、苦手なものや、食わず嫌いもあるので、励ましたり、ほめたりしながら、様々な味を経験させていく ・ 保育士がおいしそうに食べる場所を見せ咀嚼を促す ・ 気温の変化が大きく体調を崩しやすいので、衣服の調節、保育室の温湿度管理に配慮する </td> </tr> </table>	保 育 者 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で食べたいという気持ちを尊重し見守る ・ 好みが出てきて、苦手なものや、食わず嫌いもあるので、励ましたり、ほめたりしながら、様々な味を経験させていく ・ 保育士がおいしそうに食べる場所を見せ咀嚼を促す ・ 気温の変化が大きく体調を崩しやすいので、衣服の調節、保育室の温湿度管理に配慮する 		
保 育 者 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で食べたいという気持ちを尊重し見守る ・ 好みが出てきて、苦手なものや、食わず嫌いもあるので、励ましたり、ほめたりしながら、様々な味を経験させていく ・ 保育士がおいしそうに食べる場所を見せ咀嚼を促す ・ 気温の変化が大きく体調を崩しやすいので、衣服の調節、保育室の温湿度管理に配慮する 				
留 意 点	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 1453 243 1666">環 境 構 成</td> <td data-bbox="243 1391 1421 1666"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの行動範囲に応じて、他のクラスやテラス、園庭、散歩など遊びの場を広げていく ・ 砂、落ち葉、季節の野菜や花、実(どんぐり、いが栗、ミカン、)など見たり、ふれたりして楽しめるようにしていく ・ 野菜や果物の絵本を用意する </td> </tr> </table>	環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの行動範囲に応じて、他のクラスやテラス、園庭、散歩など遊びの場を広げていく ・ 砂、落ち葉、季節の野菜や花、実(どんぐり、いが栗、ミカン、)など見たり、ふれたりして楽しめるようにしていく ・ 野菜や果物の絵本を用意する 		
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの行動範囲に応じて、他のクラスやテラス、園庭、散歩など遊びの場を広げていく ・ 砂、落ち葉、季節の野菜や花、実(どんぐり、いが栗、ミカン、)など見たり、ふれたりして楽しめるようにしていく ・ 野菜や果物の絵本を用意する 				
反 省	<p>戸外でたくさん身体を動かしてあそんだり、クレヨン画やシール貼りなどの製作も楽しむことができた。園庭や公園など様々な場所であそぶ中で、様々な経験をする事ができた。また、保育士にほめられることを喜び、食事中には苦手な野菜を口にしようとする姿もあった。歩行も一人ひとりのペースで安定し、活発に動いてあそんでいる。危険のないように十分に注意して保育を進めていきたい。</p>				

0歳児11月

目標	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然に触れながら、活動範囲を広げていく 遊びに十分満足し、おなかをすかせ食べたい意志を持って食事に向かう 				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 体力がつき、今まで以上に長い間遊べるようになり、食事もよく食べる。 同じクラスの子どもに興味を示し、顔を近づけたり、さわったり、抱きついたり、はしゃぎ合う姿が多く見られるようになる 低月齢児も「～なの？」と質問するとうなづいたり、会話をするように喃語や言葉が出るようになる 「(自分の)くつを持ってきて」の言葉がけや片づけなど日常生活でよく使う言葉を理解し、応じようとする姿が見られてきた “もっと遊びたい” “これをしたい” という自己主張をするようになる 				
ねらいと内容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="109 607 197 808">食</td> <td data-bbox="197 607 1375 808"> <ul style="list-style-type: none"> よく遊び、十分にお腹を空かせて食事に向かい、手づかみや食具で意欲的に食べる 食後、タオルを渡して声かけすると口元や手を自分で拭こうとする 調理室に興味を示し、その日の食事を見たり、調理員に手を振ったりする ままごと遊びを好み、保育士が相手をするととても喜ぶ。また、食べる模倣やほっぺをさわって、“おいしい”を表現する </td> </tr> <tr> <td data-bbox="109 808 197 1155">生活</td> <td data-bbox="197 808 1375 1155"> <ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことがはっきりしてきて、指さしや動作で要求を表現する（もう1回、これ、こっちなど） 身体のバランス感覚が育ち、遊具によじ登ろうとしたり、豆自動車や三輪車に乗せてもらうことを喜ぶ 散歩や園庭遊びで落ち葉に触れ、感触や音、舞い上がった時の様子を楽しむ 散歩で、コンクリートや砂利、芝生など様々な感触の上を歩くことを体験する 体操やリズム遊びを楽しむ 単純な絵本の読み聞かせに注目し、保育士の表情を楽しんだり、言葉の繰り返しを模倣しようとする 着替え、遊びの中などで保育士にほめられることを喜ぶ </td> </tr> </table>	食	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、十分にお腹を空かせて食事に向かい、手づかみや食具で意欲的に食べる 食後、タオルを渡して声かけすると口元や手を自分で拭こうとする 調理室に興味を示し、その日の食事を見たり、調理員に手を振ったりする ままごと遊びを好み、保育士が相手をするととても喜ぶ。また、食べる模倣やほっぺをさわって、“おいしい”を表現する 	生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことがはっきりしてきて、指さしや動作で要求を表現する（もう1回、これ、こっちなど） 身体のバランス感覚が育ち、遊具によじ登ろうとしたり、豆自動車や三輪車に乗せてもらうことを喜ぶ 散歩や園庭遊びで落ち葉に触れ、感触や音、舞い上がった時の様子を楽しむ 散歩で、コンクリートや砂利、芝生など様々な感触の上を歩くことを体験する 体操やリズム遊びを楽しむ 単純な絵本の読み聞かせに注目し、保育士の表情を楽しんだり、言葉の繰り返しを模倣しようとする 着替え、遊びの中などで保育士にほめられることを喜ぶ
食	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、十分にお腹を空かせて食事に向かい、手づかみや食具で意欲的に食べる 食後、タオルを渡して声かけすると口元や手を自分で拭こうとする 調理室に興味を示し、その日の食事を見たり、調理員に手を振ったりする ままごと遊びを好み、保育士が相手をするととても喜ぶ。また、食べる模倣やほっぺをさわって、“おいしい”を表現する 				
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことがはっきりしてきて、指さしや動作で要求を表現する（もう1回、これ、こっちなど） 身体のバランス感覚が育ち、遊具によじ登ろうとしたり、豆自動車や三輪車に乗せてもらうことを喜ぶ 散歩や園庭遊びで落ち葉に触れ、感触や音、舞い上がった時の様子を楽しむ 散歩で、コンクリートや砂利、芝生など様々な感触の上を歩くことを体験する 体操やリズム遊びを楽しむ 単純な絵本の読み聞かせに注目し、保育士の表情を楽しんだり、言葉の繰り返しを模倣しようとする 着替え、遊びの中などで保育士にほめられることを喜ぶ 				
指導上の援助	<ul style="list-style-type: none"> もう1回”や“これで遊びたい” というような子どもの意欲を満たし、十分に遊び込めるように配慮し、お腹を空かせて食事に向かう 食具はなるべく右手で持つことや左手を添えることも伝えていく ままごとの相手を求めてきた時には丁寧に応答し、関わって遊ぶことの楽しさを味あわせていく 絵本や視聴覚教材を用意し、子どもたちの興味・関心を広げていく。 散歩はなるべく歩かせてあげ、様々なもの（木々、花、金魚、落ち葉など）を身近で見たり、触れられるものは手を出してみようとするを促すようにする 食事や生活の中で、鼻水が出ていたらこまめにふき取ってあげ、清潔にする心地よさを味あわせていく 				
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの探索意欲を満たせるように遊具、玩具、絵本等がある環境で遊ばせる 日常生活の中でよく見るものや食べ物が載っている単純な絵本を用意しておく ままごと遊びが楽しめるよう、食べ物や調理器具のおもちゃ、かばんなどを用意しておく 				
反省	<p>活動範囲が広がり体力がつき、自己主張も育っているので、食事の誘いに対しても拒否することが出てきた。一人ひとりの遊びをしっかりと満たしてあげ、クラス内で時間差をつけて食事に向かうことでよく食べている。理解力、自己表現力がついてきているので、イエス、ノーを言えるよう声かけに配慮している</p>				

0歳児12月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒い時期を健康に過ごす ・ 冬の自然をあじわいながら、好きな遊びを満足するまで行い、意欲的に食事に向かう
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 味覚が育ち、食事の好みがはっきりしてきて、食べようとしなかったり、食べ物を投げたり、遊んだりすることがある ・ 家庭での生活リズムにより、食事の進みの遅い子どもがいる ・ 体調不良の子どもがいる ・ 食べものや身近な物の絵本をよく見ていたり、指さして「あっ、あっ!」というなど、名前を聞きたがる ・ 園庭や2歳児テラスに行きたがったり、やりたいことや手伝って欲しいことを指さしや手を引いて要求する ・ リズム遊び・体操・かけっこなど他児の様子をよく見ながら自分も参加しようとする
ね ら い と 内 容	<p>食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ランチルームに参加し、一人ひとりがお腹の空いた時に食事に向かう ・ ランチルームの雰囲気を楽しむ、異年齢児や他クラス職員とのふれあいを体験する ・ 体調に適した食事をとる
	<p>生 活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がやりたいことを指さしや動作、言葉で要求し、満足いくまで遊ぶ ・ 園庭や2歳児テラスに慣れ、積極的に行動し、異年齢児の動きに興味を持って見たり、声をかけられたりして触れあう ・ 散歩や製作、リズム遊びなどでクリスマスの雰囲気を楽しむ ・ 「こっちに行こう」、「(自分の)くつを持ってきて」など簡単な声かけを理解し行動する
指 導 上 の 留 意 点	<p>保 育 者 の 援 助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者との会話や連絡帳で体調把握をきちんとしていき、配慮していく ・ “もっと遊びたい”という気持ちを満たし、お腹が空いた時にランチルームに入れるようにする ・ 子どもの要求や物の名称を聞きたがることに丁寧に答えていく
	<p>環 境 構 成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味に応じた場所で満足いくまで遊び込め、異年齢児とのふれあいが持てるようにしていく ・ ランチルームに参加していくので、無理なく慣れるように配慮していく ・ 散歩や園庭遊び、季節の野菜や果物を用意することで、冬の自然物にふれる機会をつくっていく
反 省	<p>体調を崩す子どもが多く、視診を十分におこなうとともに、一人ひとりに合った保育や食事をすすめていくように配慮した。下旬からランチルームでの食事を開始したが、保育士との食事を楽しむ子どもや、落ち着いて食事をする子どもの姿があった。言葉が増し、要求を言葉で表現したり、オウム返しもよく聞かれた。異年齢の友だちや保育士のまねをして遊ぶこともある。引き続き、安心できる環境の中で様々な経験ができるようにしていきたい。</p>

1歳児4月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活や保育士など新しい環境に慣れる ・温かな雰囲気の中、安心して楽しく食事する
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に泣いたり不安定になることがあるが、保育士に抱っこされ落ち着く姿も見られる ・好きなものなら自分から食べようとする ・好きな遊びには、関心を示す
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○温かな雰囲気の中、安心して楽しく食事する ・保育士とともに食前・食後の挨拶をしようとする ・安心できる雰囲気の中、好きなものを食べる ○お腹が空き、食事を喜んで食べる ・ランチルームで保育士と食事する
と 内 容 活	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に慣れ安心して過ごす ○保育士との十分な触れ合いを通して、好きな場所や遊びを見つけて楽しむ ・好きな保育士といることで安心して過ごす ・十分に遊び食事に向かう ・保育士を基地とし、自分で探索し好きな遊びを楽しむ(高月齢) ○旬の野菜に触れる ・たけのこに触れる
保 育 者 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップなどを通して信頼関係を築き、安心して生活できるように配慮する ・生活リズムをつかみ、お腹が空いた状態でおいしく食事できるようタイミングを見て食事に誘う ・自分で食べようとする気持ちを大切に見守りながら、さりげなく援助する
留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・温かな雰囲気の中でゆったりと食事ができるようにする ・安全に配慮し、探索活動を促すような環境づくりをする ・好きなキャラクターなどをランチルームに飾り、楽しい食事に結びつける ・旬の野菜を用意する
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に慣れ、自分から遊ぼうとするようになってきた。まだ不安定な子どももいるので、個別にじっくり関わっていく必要がある。 ・食事に対しても好きなものを積極的に食べている。咀嚼が上手に出来ない子どももいるので気をつけて声をかけたい。お腹が空いて食べるおいしさを引き続き伝えていきたい。

1歳児5月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、睡眠、排泄といった生活面を安定した情緒の中で楽しんで行う ・清潔にする心地よさを感じる
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、自分から遊ぼうとするようになってきた ・保育士に介助してもらい、手づかみで食べたりフォークを持って食べようとする ・食べ物の好き嫌いをはっきり示す
ね ら い と 内 容	<p>食</p> <ul style="list-style-type: none"> ○温かな雰囲気の中で、楽しく食事しようとする ・保育士に介助してもらいながら、手づかみやフォークを持って食べようとする ・保育士とともに食前・食後の挨拶をしようとする ・保育士に声をかけられながら、しっかりと咀嚼する ・おにぎりの実演を見て、給食を作る人のことを知る ○清潔にする心地よさを感じる ・食前の手洗いを保育士と一緒にやる ・食事の後は温かなタオルで口元や手を拭いてもらい心地よさを知る
	<p>生 活</p> <ul style="list-style-type: none"> ○好きな遊びや場所を見つけて楽しむ ・自分から探索したり保育士と一緒に好きな遊びを見つける ・十分に遊び食事に向かう ○春の自然に触れて戸外遊びを楽しむ ・散歩を楽しむ ・園庭の野菜を喜んで見に行こうとする ・たけのこの堅さ、そらまめのさやの中の柔らかさなど感触を楽しみながら旬の野菜に触れる（たけのこ、そらまめ）
指 導 上 の 留 意 点	<p>保 育 者 の 援 助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムに合わせて、お腹が空いた状態でおいしく食事できるように誘う ・手の洗い方、拭き方を知らせる ・フォークに食べ物をさして渡し、フォークを使って食べることを伝える ・食後に手などをきれいにする心地よさが伝わるよう「きれいになったね」など声をかける ・保育士がおいしそうに食べて見せ、食べ物に興味を持てるようにする ・園庭や散歩など戸外で野菜に興味を持てるようこまめに声かけをする。幼児が作業しているところを見る ・そばにいたり見守りながら探索を楽しめるようにする ・自分でやりたい気持ちを大切にす ・なるべくフォークを使うようほめながら伝える
	<p>環 境 構 成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かな雰囲気の中で食事ができるようにする ・安全に配慮し、探索活動を促すような環境づくりをする ・ランチルームに身近な食材や旬の食材の装飾をし、給食への興味関心につなげる ・寝る部屋、遊ぶ部屋を分け、眠い子どもはすぐ眠りにつけるようにする ・じっくり遊べるよう小さな空間を作りひとり遊びを保障する ・好きな遊びや場所が見つけられるよう2歳児クラスと連携をとり遊びを広げる
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に落ち着きを見せ始める。子どもたちの生活面を更に細かく見ていき対応していく。自分でやりたいという気持ちが出てき始めているので大切に保育したい。 ・遊びの場面では、いろいろな面に興味を持って楽しんでいる。じっくり遊べる場面も作っていきたい。

1歳児6月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・初夏の自然に触れて、戸外遊びを楽しむ ・楽しい雰囲気の中、こぼしながらも自分で食べようとする
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・探索行動が盛んになり、いろいろなものに興味関心を持つ ・友だちの遊びに関心を示す ・苦手な食べ物は口にしようとしな ・園庭に出ると野菜の苗を喜んで見に行く子どもが増えている
ね ら い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気の中、自分で手づかみやフォークを持って食べようとする ・自分から積極的に食べようとする ・苦手な食べ物に興味を持つ(高月齢) ・保育士とともに食前・食後の挨拶をする ○清潔にする心地よさを感じる ・食前の手洗いを保育士に見守られ自分でやろうとする(高月齢) ・食事の後は麦茶を飲むと口の中がさっぱりすることを知る
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ○保育士や友だちと一緒にブロックなどでじっくりと遊ぶ ○初夏の自然に触れて戸外遊びを楽しむ ・散歩を楽しむ ・園庭の野菜に触れる ・旬の野菜に触れる (オクラ、枝豆、そらまめ) ○手先を使った遊びを楽しむ ・豆つまみ、小麦粉粘土、オクラスタンプをする ・豆マラカスで遊ぶ
指 導 上 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でやりたい気持ちを大切に、さりげなく食事の援助をする ・手の洗い方を知らせながら、自分で洗いたい気持ちを大切に ・麦茶を飲むことで口の中がさっぱりすることを伝える ・保育士がおいしそうに食べて見せ食べ物に興味を持てるように ・五感を使って、野菜の生命を感じられるよう保育士と一緒にみたり触ってみる ・予測がつかない行動が多いので十分気をつけ保育する ・幼児が栽培活動をしているところを見せ興味を持てるように
留 意 点 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・温かな雰囲気の中で食事ができるように ・安全に配慮し、探索活動を促すような環境づくりをする ・じっくり遊べるよう小さな空間を作りひとり遊びを保障する ・ランチルームに身近な食材や旬の食材の装飾をし、給食への興味関心につなげる ・寝る部屋、遊ぶ部屋を分け、眠い子どもはすぐ眠りにつけるように ・身近なところにも野菜や植物を置き関心を高める ・好きな遊びや場所が見つけられるよう乳児クラスと連携を取り遊びを広げる ・遊びが持続しない子どもには、関わっていきながら援助していく
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちへの関心が少しずつ高まってきている。食事の場面でもその様子がうかがえる。あらゆる場面で友だちとのつながりをつくっていききたい。 ・園庭の野菜への関心も強くなり、自分で見に行く姿が増えている。食事にも結びつけながら保育していききたい。 ・言葉が少しずつ増えているので、表現描写の多い絵本を用意しておきたい。

1歳児7月

目・標	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びなど夏ならではの遊びを楽しみながら元気に過ごす ・言葉などでの表現が豊かになり保育士と共感できることを喜ぶ
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームに入ることを喜んでいたが、「おなかすいた」「まだ食べない」など空腹感を意識するようになる ・苦手なもの食べてほめられることを喜ぶ ・友だち同士のかかわりが増え、言葉で表現する
ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご飯を食べよう」の声かけで食前の手洗いを自分からやろうとする ・苦手なものでも調理形態によっては自分から食べようとする ・装飾や絵本を見て「これ食べた」「(給食に)はいつてる」今食べているものと見比べたり過去を思い出して話そうとする ・「お茶ください」など2歳児や保育士の真似をして要求を言葉で伝えようとする
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジを豆腐に見立てたり、ままごとで包丁を使って野菜を切る、人形にミルクをあげるなど自分の見たことを再現して遊ぶ ・食べているものの形を見て「おふねー」など比喩して表現する ・調理室をのぞいたり、ランチルームで会食することで作る人に興味を持つ ・氷の冷たさ、感触を友だちと一緒に楽しんで遊ぶ ・ままごとで皿に食べ物をのせ、友だちや保育士に「はいどうぞ」と渡しふれあいを楽しむ
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが苦手な食材でも調理形態が違えば味わいも変わってくることを伝える ・作る人が身近に感じられるよう声をかけたり一緒に調理室をのぞいたりする ・子どもに話しかけるときは、子どもたちが考えて言葉を発せられるように気をつけて声をかける
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びができるようペットボトル、スポンジやタッパー、まな板、包丁など用意しままごとコーナーの整備を行なう ・ランチルームの壁面に旬の食材を掲示し、自分が食べている食材と結び付けやすくする ・大小さまざまな氷を用意して遊べるようにする ・一人ひとりの興味にあわせた活動をし、遊びに満足できるよう乳児クラスで交流を図る
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のかかわりが増えた分、トラブルが多くなる。見守りながら丁寧にかわり方を伝えていく。 ・言葉や表情での表現力が豊かになる。絵本や歌などの種類をさらに広げていきたい。 ・身体能力に自信が出てきているが、伴わないことも多く気をつけて保育したい。

1歳児8月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びなど夏ならではの遊びを楽しみながら元気に過ごす ・言葉などでの表現が豊かになり保育士と共感できることを喜ぶ 				
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームに入ることを喜んでいたが、「おなかすいた」「まだ食べない」など空腹感を意識するようになる ・苦手なものを食べてほめられることを喜ぶ ・友だち同士のかかわりが増え、言葉で表現する 				
ね ら い と 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 607 278 797">食</td> <td data-bbox="278 607 1395 797"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご飯を食べよう」の声かけで食前の手洗いを自分からやろうとする ・苦手なものでも調理形態によっては自分から食べようとする ・装飾や絵本を見て「これ食べた」「(給食に)はいってる」今食べているものと見比べたり過去を思い出して話そうとする ・「お茶ください」など2歳児や保育士の真似をして要求を言葉で伝えようとする </td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 797 278 1032">生 活</td> <td data-bbox="278 797 1395 1032"> <ul style="list-style-type: none"> ・スポンジを豆腐に見立てたり、ままごとで包丁を使って野菜を切る、人形にミルクをあげるなど自分の見たことを再現して遊ぶ ・食べているものの形を見て「おふねー」など比喩して表現する ・調理室をのぞいたり、ランチルームで会食することで作る人に興味を持つ ・氷の冷たさ、感触を友だちと一緒に楽しんで遊ぶ ・ままごとで皿に食べ物をのせ、友だちや保育士に「はいどうぞ」と渡しふれあいを楽しむ </td> </tr> </table>	食	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご飯を食べよう」の声かけで食前の手洗いを自分からやろうとする ・苦手なものでも調理形態によっては自分から食べようとする ・装飾や絵本を見て「これ食べた」「(給食に)はいってる」今食べているものと見比べたり過去を思い出して話そうとする ・「お茶ください」など2歳児や保育士の真似をして要求を言葉で伝えようとする 	生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジを豆腐に見立てたり、ままごとで包丁を使って野菜を切る、人形にミルクをあげるなど自分の見たことを再現して遊ぶ ・食べているものの形を見て「おふねー」など比喩して表現する ・調理室をのぞいたり、ランチルームで会食することで作る人に興味を持つ ・氷の冷たさ、感触を友だちと一緒に楽しんで遊ぶ ・ままごとで皿に食べ物をのせ、友だちや保育士に「はいどうぞ」と渡しふれあいを楽しむ
食	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご飯を食べよう」の声かけで食前の手洗いを自分からやろうとする ・苦手なものでも調理形態によっては自分から食べようとする ・装飾や絵本を見て「これ食べた」「(給食に)はいってる」今食べているものと見比べたり過去を思い出して話そうとする ・「お茶ください」など2歳児や保育士の真似をして要求を言葉で伝えようとする 				
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジを豆腐に見立てたり、ままごとで包丁を使って野菜を切る、人形にミルクをあげるなど自分の見たことを再現して遊ぶ ・食べているものの形を見て「おふねー」など比喩して表現する ・調理室をのぞいたり、ランチルームで会食することで作る人に興味を持つ ・氷の冷たさ、感触を友だちと一緒に楽しんで遊ぶ ・ままごとで皿に食べ物をのせ、友だちや保育士に「はいどうぞ」と渡しふれあいを楽しむ 				
保 育 者 の 指 導 上 の 留 意 点	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 1032 278 1357">保 育 者 の 指 導 上 の 援 助</td> <td data-bbox="278 1032 1395 1357"> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが苦手な食材でも調理形態が違えば味わいも変わってくることを伝える ・作る人が身近に感じられるよう声をかけたり一緒に調理室をのぞいたりする ・子どもに話しかけるときは、子どもたちが考えて言葉を発せられるように気をつけて声をかける </td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1357 278 1626">環 境 構 成</td> <td data-bbox="278 1357 1395 1626"> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びができるようペットボトル、スポンジやタッパー、まな板、包丁など用意しままごとコーナーの整備を行なう ・ランチルームの壁面に旬の食材を掲示し、自分が食べている食材と結び付けやすくする ・大小さまざまな氷を用意して遊べるようにする ・一人ひとりの興味にあわせた活動をし、遊びに満足できるよう乳児クラスで交流を図る </td> </tr> </table>	保 育 者 の 指 導 上 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが苦手な食材でも調理形態が違えば味わいも変わってくることを伝える ・作る人が身近に感じられるよう声をかけたり一緒に調理室をのぞいたりする ・子どもに話しかけるときは、子どもたちが考えて言葉を発せられるように気をつけて声をかける 	環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びができるようペットボトル、スポンジやタッパー、まな板、包丁など用意しままごとコーナーの整備を行なう ・ランチルームの壁面に旬の食材を掲示し、自分が食べている食材と結び付けやすくする ・大小さまざまな氷を用意して遊べるようにする ・一人ひとりの興味にあわせた活動をし、遊びに満足できるよう乳児クラスで交流を図る
保 育 者 の 指 導 上 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが苦手な食材でも調理形態が違えば味わいも変わってくることを伝える ・作る人が身近に感じられるよう声をかけたり一緒に調理室をのぞいたりする ・子どもに話しかけるときは、子どもたちが考えて言葉を発せられるように気をつけて声をかける 				
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びができるようペットボトル、スポンジやタッパー、まな板、包丁など用意しままごとコーナーの整備を行なう ・ランチルームの壁面に旬の食材を掲示し、自分が食べている食材と結び付けやすくする ・大小さまざまな氷を用意して遊べるようにする ・一人ひとりの興味にあわせた活動をし、遊びに満足できるよう乳児クラスで交流を図る 				
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のかかわりが増えた分、トラブルが多くなる。見守りながら丁寧にかかわり方を伝えていく。 ・言葉や表情での表現力が豊かになる。絵本や歌などの種類をさらに広げていきたい。 ・身体能力に自信が出てきているが、伴わないことも多く気をつけて保育したい。 				

1歳児9月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った遊びを楽しみ、満足して食事に向かう ・生活リズムを整え意欲を持って活動する 	
子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「おやつください」など要求を言葉で伝えるようになる ・何でもできるという気持ちが高まり、自分の能力以上の活動をしようとし、危険も多くなる 	
ね ら い と 内 容	食	<ul style="list-style-type: none"> ・高月齢児は、保育士に声をかけられスプーンやフォークを順手で持とうとする ・食前食後の挨拶を自分からしようとする ・見慣れない食材も自分から食べてみる ・「プルプル」など食感を自分なりに表現しようとする ・空腹を感じてから食事をし、おいしさを感じる
	生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った遊びを楽しみ、満足して食事に向かう ・畑の野菜や園庭のプランターに植えてある秋野菜に興味を持ち、保育士や友だちと一緒に見る ・野菜に直接触れ、匂いをかいだり、いろいろな感触があることを楽しむ ・4歳児の栽培活動（ほうれん草の種まき）に参加して楽しむ
指 導 上 の 留 意 点	保 育 者 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・食具の持ち方に興味を持てるよう声をかける ・食感にもいろいろな表現があることを保育士と一緒に食事しながら伝えていく ・保育士から食事に誘うだけでなく、子どもからの要求も大切にし、十分にお腹が空くのを待つ
	環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使って遊べるボールやフープ、体操の音楽などを充実させる ・季節の移り変わりが感じられるような散歩コースを設定する ・ままごとでも持ち方を意識できるようにスプーンやフォークは多めに用意しておく ・なすやさといもなどの匂い、感触が違う野菜を用意する
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みや連休明けにリズムが乱れる子どもが多く、一人ひとり丁寧な関わりが必要となった。 ・食欲が増し、よく食べるようになったが、遊びに夢中になることが増え、あまり食べに行きたがらなくなる。気持ちを尊重し生活したい。 ・フォークの持ち方に興味を持ち、声をかけてやろうとしている。箸に結びついていくので、持ち方については引き続き声をかける。 	

1歳児10月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・手先や全身を使った遊びを友だちと一緒に楽しむ ・食べているものの味や匂いを感じながらおいしく食事をする
子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・低月齢児も自分で何でもやろうという気持ちが強くなる ・遊びに夢中になり、食事に誘っても食べたがらない子どもが増える
ね 食 ら い と 生 内 活 容	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたいと思った時、自分から手を洗いにいく ・絵本などを見て「これはすっぱい」「これおいしい」「甘い」と経験を思い出し表現する ・ポップコーンを作る過程を見て楽しむ ・食べているものの匂いを感じおいしく食べる ・保育士に促がされてフォークの持ち方を意識する(高月齢)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひも通しを行い、指でつまむ、引っ張るなどの動作を経験する ・ままごとで、自分から料理を作ろうとする ・疑似体験できるようなおぶいひもや、エプロンをつけてごっこあそびを楽しむ ・ブロックを組み立て「車」「家」など具体的な物を作ろうとする ・季節の歌、童謡を保育士と一緒に唄い楽しむ ・どんぐりや栗など秋の木の実の感触や音を楽しみ、ままごとをする
保 育 者 指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でやりたい気持ちを大切に、さりげなく手伝い、できたことを誉めることで次の意欲につなげていく ・ままごとで、料理など自分で作り上げていく楽しさを伝える ・言葉と体験が一致するよう食事や遊びの場面でいろいろな表現を伝えていく ・遊びたい気持ちを認めながらタイミングを見て食事に誘う ・お腹が空いて食事にむかえるよう思いきり体を動かす遊びに誘う ・どんぐり、栗などは、危険のないよう配慮する ・ポップコーンの実演を見学して、はじける音や匂いを体験できるようにする
	環 境 構 成
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・低月齢、高月齢と分けて保育を行ってきたことが、子どもたちの成長をより促がせたように思う。また、低月齢児が身のまわりのことをやろうとするようになり、高月齢児により刺激を与えている。 ・食事の場面で、高月齢児が苦手なものを食べている姿を見て、低月齢児が食べる姿もあった。異年齢間でも見られたので、子ども同士の関わりを意識し保育を進めていきたい。

1歳児11月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れながら、戸外遊びや散歩を楽しむ ・保育士や友だちと一緒に食べる楽しさを知る 	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具に挑戦するなど全身を思い切り使い、活動するようになった。食欲が増し、食べることを楽しみにする子どもが増える ・大人からの声かけに対し、何にでも「いやだ」ということが多くなる 	
ね ら い と 内 容	食	<ul style="list-style-type: none"> ・食器に手を添えるなどのマナーを保育士に教えてもらい知る ・給食室から漂ってくる料理のにおいに気づく ・友だちの名前を呼んだり、遊びや生活の場面で周りを意識する ・食べた後お皿の中が空になると「ピッカピカー」と全て食べられたことを喜ぶ ・いつもと違う雰囲気の中で食べることを楽しむ(青空おやつ)
	生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも食器を下げるなど手伝いをしようとする ・色をつけたマカロニでひも通しをする ・落ち葉や木の実など秋の自然に触れながら戸外遊びを楽しむ ・園庭のほうれん草の生長を楽しみに見る ・食につながる体操を楽しんで行う
指 導 上 の 留 意 点	保 育 者 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に子どもたちの成長を話し、家庭で手伝いができるようにする ・漂ってくる匂いに気づけるよう声をかける ・友だちとの関わりが楽しめるように、一緒に遊べるような設定や声かけを行う ・全て食べられたことの喜びが感じられるよう、本人の食べられる量に調節し次への意欲へとつながるようにほめる ・「いやだ」という自己主張を受けとめながら、意欲に変えられるように関わっていく
	環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・マカロニのひも通しが落ち着いてできるよう、机、椅子を用意する ・落ち葉や木の実が多い場所を探し散歩に出かける ・気候を見ながら青空おやつの日を設定し、子どもの動線などみんなに周知する ・食に楽しく関わられるような体操の曲を用意する ・風邪を引きやすくなるので、室内の温度や湿度の管理を気をつける ・青空ランチを楽しめるよう、子どもの動線、机の配置を決める
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使って固定遊具などに挑戦している姿が多く見られた。能力も高まってきているが、まだ危険も多いので注意が必要である。 ・自己主張が出てきており、食事の場面でもそれが見られるようになってきている。意欲に変えていけるよう配慮したい。 	

1歳児12月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士を介して、友だちと簡単なごっこ遊びを楽しむ ・保育士に声をかけられ食事のマナーを意識する 				
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・全て食べられたことに喜びを感じる ・上手に食べられるようになり、こぼしが減る ・友だちや保育士と喜んで遊んだり食事をする 				
ね ら い と 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 600 197 788">食</td> <td data-bbox="203 600 1384 788"> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチの開始を意識し、「食べたい」と言葉などで保育士に伝えようとする ・保育士に声をかけられフォークを正しく持とうとする ・あんかけと一緒に食べるなど料理の食べ方を教えてもらいやろうとする ・家庭で米とぎ、レタスをちぎるなど簡単な手伝いをし、喜ぶ </td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 792 197 1066">生 活</td> <td data-bbox="203 792 1384 1066"> <ul style="list-style-type: none"> ・年上の子どもの遊び方を真似て、ままごと遊びでカレーやおにぎりといった具体的なものを作る ・指先の力の強弱を使ってブロックや積み木を組み立てたりする ・買い物ごっこなど簡単なごっこ遊びをする ・ブロッコリーや大根を見て、「できてるー」と成長していることを喜ぶ ・5歳児と一緒に大根を抜くことを楽しむ ・香りの良いゆずに触れ、楽しむ ・シール貼り、クレヨン画といった遊びを椅子に座りじっくり楽しむ </td> </tr> </table>	食	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチの開始を意識し、「食べたい」と言葉などで保育士に伝えようとする ・保育士に声をかけられフォークを正しく持とうとする ・あんかけと一緒に食べるなど料理の食べ方を教えてもらいやろうとする ・家庭で米とぎ、レタスをちぎるなど簡単な手伝いをし、喜ぶ 	生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・年上の子どもの遊び方を真似て、ままごと遊びでカレーやおにぎりといった具体的なものを作る ・指先の力の強弱を使ってブロックや積み木を組み立てたりする ・買い物ごっこなど簡単なごっこ遊びをする ・ブロッコリーや大根を見て、「できてるー」と成長していることを喜ぶ ・5歳児と一緒に大根を抜くことを楽しむ ・香りの良いゆずに触れ、楽しむ ・シール貼り、クレヨン画といった遊びを椅子に座りじっくり楽しむ
食	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチの開始を意識し、「食べたい」と言葉などで保育士に伝えようとする ・保育士に声をかけられフォークを正しく持とうとする ・あんかけと一緒に食べるなど料理の食べ方を教えてもらいやろうとする ・家庭で米とぎ、レタスをちぎるなど簡単な手伝いをし、喜ぶ 				
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・年上の子どもの遊び方を真似て、ままごと遊びでカレーやおにぎりといった具体的なものを作る ・指先の力の強弱を使ってブロックや積み木を組み立てたりする ・買い物ごっこなど簡単なごっこ遊びをする ・ブロッコリーや大根を見て、「できてるー」と成長していることを喜ぶ ・5歳児と一緒に大根を抜くことを楽しむ ・香りの良いゆずに触れ、楽しむ ・シール貼り、クレヨン画といった遊びを椅子に座りじっくり楽しむ 				
指 導 上 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの「食べたい」という言葉を大切にしながら食事に誘う ・フォークの正しい持ち方を示したり、声をかけできたときはほめる ・年上の子どもたちのそばで遊び、刺激が受けられるようにする ・保育士がやって見せたりしながら、マナーを伝えていく ・大根の生長に気づけるよう声かけし、収穫を楽しみにできるようにする 				
留 意 点	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1388 197 1653">環 境 構 成</td> <td data-bbox="203 1388 1384 1653"> <ul style="list-style-type: none"> ・見立てて遊べるような玩具を用意しておく ・ゆずの種が植えられるようプランターを用意する ・室内遊びで、椅子に座ってできる遊びを設定し、じっくり遊べるようにする </td> </tr> </table>	環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・見立てて遊べるような玩具を用意しておく ・ゆずの種が植えられるようプランターを用意する ・室内遊びで、椅子に座ってできる遊びを設定し、じっくり遊べるようにする 		
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・見立てて遊べるような玩具を用意しておく ・ゆずの種が植えられるようプランターを用意する ・室内遊びで、椅子に座ってできる遊びを設定し、じっくり遊べるようにする 				
反 省	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩す子どもが多く、体調に気をつけて保育を行う。室内遊びで、シール貼り、ひも通しなど行うが椅子に座ってやることでじっくり取り組んでいる。 ・家庭での手伝いが連絡帳からも多く見られ、保護者への声かけの大切さを感じる。 				

2歳児4月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れる ・自分のリズムで保育士や友だちと一緒に食事をおいしく食べる
子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・進級児は1歳児の時ランチルームでの食事を経験し、意欲的に食事に向かう子どもが多い。また、進級を喜び、はりきって生活する姿も見られる ・新入児の中には不安を見せ泣く子どももいるが、保育士のそばにいと落ち着き、遊び始めるようになる
ね 生 活 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気の中、自分の生活リズムで食事をおいしく食べる ・食前に保育士と一緒に手を洗う ・ランチルームで食事をする ・保育士と一緒に食前・食後の挨拶をする ○保育士や友だちと一緒に食事をするを通しておいしく食べる経験をする
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育士に見守られながら自分の好きな遊びを楽しむ ○好きな遊びを通して友だちとふれあう ・保育士や友だちと好きな遊びをする ○戸外で体を動かすなどたっぷりと遊び、お腹の空くりズムを作る ○身近な野菜に触れ、切り口などにも興味を示す ・野菜のスタンプ遊びをする ○春の草花や虫に興味・関心を持つ ・身近な草花や虫などに見たり、触れたりすることを喜ぶ
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・不安な思いを受け止め、一緒に遊び好きなことが見つけられるよう援助していく ・戸外で体を動かす遊びに誘い、空腹を感じて食事に行けるようにする ・一人ひとりのお腹の空き具合を見極めて食事に誘う。食事の量や好き嫌いを把握し、無理せず少しずつ食べられるようにしていく ・あいさつ、手洗いなどは保育士が手本を示し、丁寧に関わっていく ・生活の流れを分かりやすく伝え、少しずつ身の回りのこともできるように導いていく ・身近な野菜の切り口などがどんな形になっているかスタンプ遊びを通して楽しみながら興味を持てるようにする
反 省	<p>継続児は昨年度より保育室へもよく遊びに行っていたので、戸惑いも少なく進級することができた。マークシールを昨年と同様にしたことも良かったようで、ロッカーやタオルかけの場所も早々と覚え自分で行おうとする姿が見られている。新入児も継続児の流れに乗ってランチルームでの食事も戸惑うことなく楽しんでいる。「食べたい」と食事に向かうものの、進みの悪い子どもも多い。登園時間やお腹の空き具合、好き嫌いなど一人ひとりの状況を把握し、食事に誘うタイミングや量の調節を行っていききたい。</p>

2歳児5月

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や友だちと関わり、好きな遊びを楽しむ ・たっぷり遊び空腹を感じて食事に向かう
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境にも慣れ、身の回りのことを手伝ってもらいながら自分で行う姿が見られる ・「食べたい」「まだ遊びたい」と表現できる子どもが増えてきたが、中には食事に行っても進みが悪い子どももいる
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気の中、自分の生活リズムで食事をおいしく食べる ・食前の手洗いを少しずつ自分でしようとする ・保育士と一緒に食前・食後の挨拶をする ・フォークを使って食べる ・量を調節してもらい「全部食べた」という達成感を持つ ・食後に口の周りの汚れを自分で拭こうとする ○保育士や友だちと一緒に食事することを楽しむ ○調理員によるおにぎり実演に興味・関心を持つ
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で好きな遊びを見つける ○好きな遊びを通して友だちと関わって遊ぶ ○たっぷり遊び、お腹の空くリズムを作る ・体を動かす遊びや音楽に合わせて体操などを楽しむ ○園庭の花や野菜の栽培に興味・関心を持ち、生長を楽しみにする ・ミニトマトの種まきや生長を観察する ・園庭の野菜を見たり、触れたりする ○旬の食材に触れる（たけのこ、そらまめ）
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのお腹の空き具合をしっかりと見極めたたっぷり遊びお腹が空いた状態で食事ができるように配慮する ・一人ひとりに合わせて食事の量を調節し、食べきった満足感から次の意欲につなげていく ・口の周りの汚れを伝え、自分で拭けるよう促す ・おにぎりの実演は子どもたち見やすい場所で行う。また、調理員に直接配膳してもらいやりとりが楽しめるようにする ・遊びが見つからない子どもには一緒に好きな遊びが見つけれられるよう援助していく。また、集団遊び等で友だちとの関わりや遊ぶ楽しさを伝えていく ・一緒に花や野菜の名前を言ったり、子どもの言葉・表現に共感し興味を広げていく
	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームに身近な食材・旬の食材の装飾をし、給食への興味関心につなげる ・好きな遊びや場所が見つけれられるよう、1歳児クラスと連携し遊びを広げる ・旬の食材を見たり、触れたりできるように日常保育の中に取り入れる
反省	<p>新入児もだいふ園生活に慣れ、笑顔で登園するようになった。それぞれ好きな遊びも見つけられるようになり、その中で少しずつ友だちとの関わりも見られている。園庭に出ると真っ先に野菜のプランターに向かい、きゅうりやナスを見ては「大きくなったよ！」と喜ぶなど生長を楽しむ様子が感じられる。ミニトマトの種まきも興味を示し、関心の高さが感じられる。今後子どもと一緒に生長を楽しみにしていきたい。おにぎり実演は調理員が目の前で握ってくれ、どの子も一番におにぎりから食べ喜んでいた。調理員との関わりも持てるようランチルームでの配膳や会食などももっと行っていきたい。</p>

2歳児6月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びを通して、保育士や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る ・友だちや保育士と楽しく食事をしながら苦手なものも少しずつ食べようとする
子ども の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭に出ると野菜のプランターを観察するのが日課となり、生長や変化に興味を持って見る子どもが増えている ・遊びの面では少人数のグループで遊ぶ姿が見られるようになるがトラブルも目立っている
ね ら 活 い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○食に必要な生活習慣に気づく ・食前に自分で手を洗おうとする ・保育士や友だちと一緒に食前・食後の挨拶をする ○楽しく食事をしながら苦手なものでも少しは食べてみようとする ・量を調節してもらい、「全部食べた」という達成感から自信を持つ ○箸に興味を持つ ・フォークの持ち方を意識する ・保育士の使っている箸に興味を示す ○食後のうがいの意味ややり方を知る ・促されて食後のうがいをする ○ランチルームで調理員に配膳してもらったり、会食をする中で作る人に興味を持つ
	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る ・保育士や友だちとごっこ遊び、集団遊びなどをする ○園庭の野菜やクラスで栽培しているミニトマトの生長を楽しむ。また、旬の食材(枝豆など)に触れる ・直接野菜に触れ、それぞれの野菜の色や感触、匂いなどの違いを知る ○指先を使った遊びを通し、手指の発達を促す ・ひも通し・ボタン遊びやはさみでの製作を行う
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の生活リズムや体調を考慮し一人ひとりに合わせて食事の量を調節し、食べきった達成感が持てるようにしていく ・給食の食材の中に園庭の野菜が入っていることに気づかせたり、友だちと刺激しあいながら苦手なものも食べられるような声かけをする ・一緒に食事をする中で箸に興味を持てるような関わりを持ち、発達状況に合わせてフォークの持ち方も意識させていく ・食後のうがいの意味を伝え、一人ひとりていねいにやり方を教えていく ・共通の遊びを通し子ども同士で関わる中で、さらに遊びが広がるようさりげなく援助していく ・身近な野菜の観察を通し、食への関心が高まるようにする。また、子どもたちの気づきや感じたことを大切に共感することでさらに興味を広げていく ・はさみは危険のないよう扱い方を個別にしっかりと教えていく
	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びや場所が見つけられるよう、1歳児クラスと連携し遊びのエリアを広げる ・ランチルームに身近な食材・旬の食材の装飾をし、給食の食材への興味につなげる ・調理員がランチルームで配膳・会食する機会をつくる ・旬の食材を見たり、触れたりできるよう日常保育の中に取り入れる ・ひも通し・ボタン遊びコーナーを設置し、子どもたちがいつでも楽しめるようにする
反 省	<p>暑い日も多くなり、戸外遊びも体調などを配慮して早めの入室を促したり、他クラスとも連携して室内遊びも選択できるようにした。食事面では好き嫌いが出てきたが、じっくりと関わり言葉かけの工夫や量の調節、また友だちと刺激し合うことで食べてみようとする姿も見られている。反面、食べる姿勢やマナーの面ではまだまだ声かけが必要なため、意識して関わっていきたい。箸に向け、指先を使う遊びも多く取り入れた。個人差はあるが集中して取り組む姿が見られる。調理員には少しずつ興味を持ってきているがまだ様子をうかがっている子どももいるので給食を作ってくれる人であることをアピールするとともに仲立ちとなり触れ合えるようにしていきたい。</p>

2歳児7月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びなどでたっぷりと体を動かして遊び、食事を楽しみにする ・食に必要な生活習慣を知り身につけていく
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームで席につくと「ごはんくださーい」と自分から声をかけたり、菓子の袋も開けようとするなど食べることに意欲的である ・食器を持たず、猫背で食べていたり、椅子の上にひざを立てて座るなど食事の姿勢が悪い子どももいる ・保育士の箸に興味を示し、「〇〇ちゃんのおうちにあるよ」と家庭で使っている様子が伺える
ね ら 活 い	<ul style="list-style-type: none"> ○食に必要な生活習慣を身につける ・食器を持って食べたり、椅子の座り方など食事の姿勢を促されて意識する ・菓子の袋など自分で開けようとする ・食後のうがいの大切さややり方を知り、自分で行う ○一人ひとりの発達状況で箸を使い始める ・箸を使って喜んで食べる ・フォークを使用している子どもは友だちの使っている箸に興味を示し、持ち方を意識する ○ランチルームで調理員に配膳してもらったり、会食をすることで作る人に興味を持つ
と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○水遊びなどでたっぷりと体を動かして遊びお腹を空かせる。 ○幼児組の栽培している野菜や旬の野菜に興味・関心を持ち、見たり触れたりする中で形や色の違い、変化に気づく ・かいわれ大根の種まきをする ・3歳以上児の調理活動(カレー作り)を見学する ・地域ボランティアの人に地場野菜の名前を教えてもらい、見たり触れたりする ○手指の発達を促すような指先を使った遊びをする ・ひも通し、ボタン遊び、パズル、粘土遊び
保 育 者 の 援 助 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・汗をかくので、水遊びやシャワーなどでさっぱりし心地よい状態で食事に向かえるようにする ・一緒に食事をする中で箸に興味を持てるような関わりを持ち、発達状況に合わせてフォークの持ち方も意識させていく ・箸の使用は発達状態を見て家庭と連絡を取り合いながら無理のない範囲で進める ・一人で菓子の袋を開けられない子どもには切り込みをいれるなどし、自分でやろうとする気持ちを育てていく ・食後のうがいの大切さを伝え、一人ひとりでいねいにやり方を教えていく ・3歳以上児の調理活動を見学し、身近な人が調理する姿や食材が料理に変化する過程を見てさらに食への興味が広がるようにする。 ・調理員が給食を作る人であることを伝えたり、保育士が仲立ちとなり親しみが持てるようにする
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さで食欲が落ちるので、室内の温度を調節し快適に食事ができるようにする ・おやつ時にはテーブルの側にゴミ入れを用意し、菓子の袋を自分で捨てられるようにする ・かいわれ大根の種まきに必要な道具を整えておく ・ひも通し・ボタン遊びコーナーを設置し、子どもたちがいつでも楽しめるようにする
反 省	<p>水遊びは嫌がる子どももなく、時間までたっぷりと遊んでいる。暑さもあり体も疲れやすくなってくるので、室内遊びの選択もできるようにし休息をとっていききたい。箸は、家庭ですでに使用している5～6名が、園でも使用を始めた。ランチルームで異年齢の中での使用となるが、特にトラブルもなくスムーズに導入できた。同年齢児にはよい刺激となっており、フォークの持ち方を見直す良い機会となっている。マナーの面では、個人差があり、引き続き個別にかかわっていききたい。また、今月は幼児組の調理活動や地場野菜の見学もあり、見たり触れたりすることが食べる意欲につながることを実感した。</p>

2歳児8月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びを楽しみ、休息をとりながら夏の暑さを乗り切り丈夫な体をつくる ・野菜の収穫を体験し、食材に興味を持つ
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びへの期待から着替えや排泄など意欲的に行うようになる ・友だちが箸で食べているのを見て、「○○ちゃんもおはしにする」などフォークの子どもたちも少しずつ箸に興味を持ち始めてきた ・夏の疲れからか食欲の落ちている子どももいる ・個人差はあるがひも通しやボタン遊びなどじっくりと取り組む姿が見られる
ね ら い と 内 容	<p>生 活</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食に必要な生活習慣を身につける ・食後のうがいが習慣づく ・食器を持って食べることや、椅子の座り方など食事の姿勢を意識する ・こぼした時は拾う、教えるなどしてきれいになる心地よさを知る ○箸やフォークを使い食べる ・箸を使って喜んで食べる ・フォークを使用している子どもは友だちの使っている箸に興味を示し、持ち方を意識する ○4歳児と一緒に収穫した野菜を給食に見つけ喜んで食べる <p>遊 び</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水遊びをたっぷりと楽しみ、室内ではゆったりと過ごすなど十分な休息をとる ○夏ならではの遊びの中で様々な感触を楽しむ(水、氷、スライム) ○色水を使い保育士や友だちとジュース屋さんごっこなどのごっこ遊びを楽しむ ○4歳児に教えてもらいながら一緒にミニ人参の収穫を体験し、食への興味を深める ○ままごとの食べ物を「おべんとうにして」とパンダナに包んでもらい、友だちと一緒にごっこ遊びを楽しむ ○園庭のポップコーンが実ったのを見て「とうもろこしできてる」と野菜の生長の早さに気づく
指 導 上 の	<p>保 育 者 の 援 助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分に休息が取れる環境づくりをし、水分補給などもこまめに行っていく ・こぼした時にはすぐに拭き、きれいになる気持ちよさを知らせていくとともにこぼしたことを伝えられるよう促していく ・一緒に食事をする中で箸に興味を持てるような関わりを持ち、発達状況に合わせてフォークの持ち方も意識させていく ・食器に手を添えたり、持って食べることで姿勢が良くなることを伝え、手本を見せながら教えていく ・4歳児のミニ人参の収穫に参加させてもらい、収穫する喜びを通してさらに食への興味関心へとつなげていく ・子どもたちの収穫した野菜が給食に入っていることを知らせ、興味を持って食べられるようにする
留 意 点 構 成	<p>環 境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑さで食欲が落ちるので、室内の温度を調節し快適に食事ができるようにする ・室内遊びや水遊びなど静と動の活動の中で十分に落ち着いて休息が取れる環境づくりをする ・幼児クラスと相談し、野菜の収穫の体験ができるよう計画を立てる ・氷、スライム、色水などの用意をしておく
反 省	<p>水遊びはせんたくごっこをしたり、色水でジュース屋さんごっこやバケツに入れてスープなどの料理を作る姿もあり、遊びのバリエーションが広がっている。人参の収穫では4歳児にやり方を教わりながら行い、自分が収穫した人参を大事そうに抱える子もいて、とても楽しい経験となったようだ。普段から幼児組の栽培に興味があり、給食の食材に入ると話をしてきたこともあってか「これは誰がつくったの？」と食材ひとつひとつを確認するなど興味の広がりを感じる。クラスで栽培していたミニトマト、かいわれ大根とも育ちが悪く失敗してしまったため、また違った野菜の栽培にチャレンジし収穫を体験させてあげたいと思う。</p>